

第2回 横浜市山内図書館指定管理者選定評価委員会 会議録	
日 時	平成28年9月29日(木) 午前9時30分～午前11時50分
開 催 場 所	山内図書館集会室
出 席 者	藤崎委員長、小澤委員、金沢委員、姜委員、渡辺委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開(傍聴者1人)
議 題	1 山内図書館視察 2 平成27年度事業者管理業務の評価に関する事業者ヒアリング
議 事	<p>1 山内図書館視察(案内及び説明は指定管理事業者)</p> <p>2 平成27年度事業者管理業務の評価に関する事業者ヒアリング</p> <p>ア セルフモニタリング報告等(指定管理事業者による報告)</p> <p>イ 事業者へのヒアリング</p> <p>(A委員) いろいろな公共図書館では、入ってすぐにフロア全体が分かるフロアマップがあるが、フロアマップはあるか。</p> <p>(事業者) 利用者用検索機の検索結果から本を探せるように、児童と一般向けの検索機の上にそれぞれフロアマップを大きく掲げている。入口から左手に児童用検索機があり、その検索機の上にフロアマップがある。</p> <p>(A委員) 児童と一般は、全体を見渡すという意味で同じフロアマップか。</p> <p>(事業者) マップとしては同じものだが、児童用検索機の上のフロアマップはひらがなを使っていて、デザインも若干違う。</p> <p>(A委員) 山内図書館のサイン計画が最寄り駅ではなく、図書館に到着してから始まっている。また、地区センターと併設しているので、わかりやすいように案内したほうがいいのではないか。</p> <p>(事業者) 地下鉄を出た所に山内図書館、地区センターの表示はあるが、山内図書館主体としては、利用者視点でわかりやすくなるようにこれから考えていきたい。</p> <p>(A委員) 大活字本と拡大読書器が少し離れたところにある。高齢者や障害者等に配慮して一か所に集めるといいのではないか。</p> <p>(事業者) 視点としてなかった。</p> <p>(B委員) 「活動報告」にある青葉区内の小中学校の数は、全ての学校か、重複している学校があるか。また、利用者アンケートでは、図書館来館者ではなく、図書取次サービスの利用者のような地域の利用者の声がわかるデータがあれば見たい。</p> <p>(事業者) 学校連携は、全校に学校向けプログラムを配布し、その年度に希望する支援をアンケートで聞いている。図書館見学であれば、図書館に近い学校に限定されてしまう部分もあるが、学校司書の配置に伴って、遠隔の学校からもリクエストが来るようになった。学校別に講座への参加人数や職業体験の対応人数など、実施した支援をまとめた一覧を作っており、各学校に配っている。指定管理になって2年目に全校に足を運んだ。</p>

利用者アンケートについては、図書取次サービスの利用者の意見を聞きたいと思っている。27年度は具体的な検討もしたが、実施するにはいたらなかった。実施したいとは考えている。

(C 委員) 自主企画事業について、子ども向けのイベントを増やしたことで子どもの入館者数や、子ども向けの本の貸出冊数が増えたということはあるか、またあるとすればそれがわかるデータはあるか。

(事業者) 数値として出すことができるので、相関関係は今後検討していく。

(C 委員) 自主企画事業は、年度によって、一般対象と児童対象の比重を変えているようだが、意図的か。子どもの読書活動推進を目標として児童対象の事業を増やしているか。

(事業者) 意図的に年度によって一般と児童の比重は変えていない。児童対象の事業は、横浜市全体として子どもに対する読書活動の推進を積極的に行っているので、それを踏まえて実施している。

(C 委員) 新規登録者数が毎年、安定して6千人弱くらいになっている。なぜ安定した数の登録ができているのか。

(事業者) 10年ぶりに図書館を利用する方もおり、その方は登録データから落ちているので、新規登録としてカウントする。

(A 委員) 「横浜市の図書館 2016」に「児童は0～15歳」と記載されているが、図書の児童書、一般書のカテゴリも0～15歳として統計資料を出しているのか。ヤングアダルト対象の図書は児童書と一般書のどちらにカウントされるのか。

(事務局) 統計資料は統一して、0～15歳を児童としている。ヤングアダルトは、コーナーとしては各館に設置しているが、図書の分類としては、ヤングアダルト対象図書は一般書に入れている。

(D 委員) 山内図書館独自の取組として有料託児サービスがあるが、1回いくらか。託児サービスを実施することで図書館へのプラスの影響、効果をどのように想定しているか。

(事業者) 1時間500円で実施しているが、専門の保育者に来てもらっており、謝礼を支払うことでずっと赤字だった。しかし、子育て中に読書をする余裕がない方にも読書という活動を通してもう一度自分の時間を少しでも持って欲しいと考え、実施している。また、利用した方に新規登録していただくという面もある。

(D 委員) 保育者への謝礼はいくらか。

(事業者) 1時間800円である。

(D 委員) 利用者が2人いれば黒字になるということか。

(事業者) 保育者は必ず2人来るので、そうとも言えない。

(B 委員) 物販は一般文具のようだが、どのようなものを取扱っているか。

(事業者) 消しゴム、シャーペンなどの一般文具のほかに、絵本のキャラクターグッズ、地元の郷土史家の自費出版本など一般流通に乗りにくい郷土資料もあわせて販売している。

(D 委員) 物販は予算上、雑入として入ってくるのか。「平成 27 年度山内図書館事業計画書」の予算案で該当するのはどこか。また、ボールペンなどの仕入の原価は支出の部のどこに入っているか。

(事業者) 物販は自主事業費にはいる。また、仕入れの原価は自主事業費に入っている。

(A 委員) 学校連携の活動実績として、事業内訳が調べ学習からその他まで分けられているが、学校訪問は実施しているか、実施している場合は内訳のどこに該当するか。

(事業者) 実績は、図書館への来館と学校訪問の両方を合わせた数字である。例えば、ブックトークなら、学校に訪問して実施した場合も、図書館に来館して実施した場合もブックトークとして数える。

(A 委員) まず、図書館見学と学校訪問のカテゴリーがあり、その中の小項目でどんなことをしたかを書いた方が分かりやすいと思う。

(事務局) 活動実績は事務局が作成した資料であり、学校連携の統計は山内図書館独自の統計ではなく、市立図書館全館共通の項目になっている。その中で学校訪問と図書館来館が区別されていない。区別して統計を出すことは難しい。

(A 委員) 対面朗読室があるが、市民との協働で、ボランティア活動として対面朗読はしているか。対面朗読は、ボランティアと図書館員のどちらが行っているか。ボランティアが行っている場合、対面朗読はボランティアの活動状況の内訳のその他の項目にはいるか。

(事業者) 図書館員ではなく、図書館協力者である音読者に読んでいただいている。音読者は中央図書館でフォローアップ研修等を終えた方である。対面朗読はボランティアの活動状況には入らない。「横浜市の図書館 2016」で実施状況がわかる。

(D 委員) 「平成 27 年度横浜市山内図書館 図書館利用者満足度調査報告書」の中で、86%が「閲覧席の増加」を今後の魅力的な取り組みと回答しているが、現在取り組んでいることや今後取り組むことはあるか。

(事業者) 平成 28 年 6 月に机といすを一部取り替えて、座席数を 6 席増加した。座席予約システムを導入した。雑誌コーナーの奥にソファがあるが、来年度は、リニューアルしてさらに席数を増やす予定である。

(E 委員) 座席予約システムを入れたのは今年度だが、導入したきっかけ、効果を聞きたい。

(事業者) 導入のきっかけは、横浜市経済局から中小企業に補助をする制度があり、その制度を利用して導入した。システムを利用するために新規登録する方が多く、利用者の登録数アップに貢献している。本は借りないが、図書館の空間を利用する方が多いことがわかった。また、利用時間や回数に制限を設けることができるようになったので、1 日中席を独占する方がいなくなり、公平性が担保できたと考えている。

(D 委員) 電子書籍の閲覧で取り組んでいることはあるか。

	<p>(事業者) 現在はない。館内閲覧という形で、指定管理の第2期の間を実施するよう検討している。</p> <p>(B 委員) 館内を見た際にちらしを丁寧に配置していたが、図書館のホームページに掲載しているか。</p> <p>(事業者) 掲載していない。館内に置いているだけである。</p> <p>(E 委員) 有料宅配が27年度はかなり増加している。何か取組をしたのか、原因は把握しているか。</p> <p>(事業者) 大々的なキャンペーンはしていないが、カウンターでのご案内で少しずつ浸透していった。利用者は高齢者より子育て世代が多く、絵本等がよく貸出に出る。子育て支援の一環になっている。</p> <p>(E 委員) 「平成27年度横浜市山内図書館利用者満足度調査報告書」のアンケートで居住地の郵便番号を聞いているが、回答者の居住地から来館までの時間や距離感のバランスがわかるか。</p> <p>(事業者) 徒歩圏内が中心である。</p> <p>(E 委員) 27年度、山内図書館での広聴の受付件数が増えている。広聴に対して27年度中に具体的に山内図書館として対応したものはあるか。</p> <p>(事業者) 外国語図書はアルファベットが見つらいというご意見があったので、すぐに、見やすくする工夫や棚の中でレイアウト変更をした。その他、新聞を読むところが暗い、館内が暑い、明かりの付け方が分からないなどすぐ対応できることには対応している。</p> <p>(D 委員) 廃棄物排出量は、25年度、26年度、27年度と排出量が増えているが、特殊な要因があるのか。</p> <p>(事業者) 若干、除籍数が増えているためと考える。</p> <p>(D 委員) 蔵書管理状況を見ると、図書除籍冊数は、27年度が多い。</p> <p>(事業者) 廃棄物排出量には、図書・新聞・雑誌等の除籍が含まれている。第1期の時はあまり除籍できなかったが、全体的な把握ができ、自信がついて少し除籍数が増えた。</p> <p>(E 委員) 閲覧コーナーの天窓から壁伝いに少し水の跡があったが、水漏れ等の問題はないか。</p> <p>(事業者) 窓を開けるシステムはあるが、現在は開けていない。シミは水の漏れ跡で、現在経過を見ている。雨が降る度に問題があるわけではない。</p> <p>(A 委員) 施設設備の維持管理に関して、「従業員退社後は機械警備にて対応し、警報が出た場合は建物等に異常がないか、侵入者はいないか、出動し巡回する」とあるが、出動は誰がするのか。</p> <p>(事業者) 契約している機械警備の会社の人が出動する。主に夜中、誤発動もある。今まで大きく障害が発生したり、翌日開館できなかったことはない。</p> <p>(D 委員) 複写手数料収納について、「所定の管理簿に記載し、定期的に報告している」とあるが、管理簿のサンプルが見たい。また、1日の終わりに手元に現金がい</p>
--	---

	<p>くらあるか把握できているか。</p> <p>(事業者) (管理簿を委員に回覧) 複写手数料の金額は多くないが、当日か翌日には入金するようにしている。複写手数料収納は、コピーサービスとして、コピー代金をいただき、そのまま銀行に収めるものである。その他に複写手数料とは別の現金として、山内堂の物販はレジで毎日管理している。</p> <p>(D 委員) 個人情報保護についてだが、USB はパソコンで使える状況か。パスワードでロックするなど対策はしているか。</p> <p>(事業者) USB はあまり使いたくないが使っている。USB に対策はしていないが、個人情報を含むファイルはすべてパスワードをかけて管理している。</p> <p>(D 委員) もし、データが出てたとしても、アクセスする時にパスワードが分からないと開かないということか。</p> <p>(事業者) そのとおり。</p> <p>(A 委員) AED 講習会は 27 年度から防災訓練の一部として取り入れたのか。</p> <p>(事業者) AED 講習会は第 1 期も含めて 2 回目の実施となる。AED 講習会と火事を想定した消火訓練を隔年で行っている。地区センターが併設された建物なので、地区センターと相談して内容を決めている。</p> <p>(A 委員) 今後も AED 講習会を実施する予定はあるか。</p> <p>(事業者) 定期的に行いたいと考えている。</p> <p>(E 委員) 防災訓練を実施する時間、方法などを知りたい。</p> <p>(事業者) 利用者が大変多いので、休館日に行っている。また、併設の地区センターと同じタイミングで行っている。</p> <p>(E 委員) 利用者がいる時のシミュレーションもしているか。</p> <p>(事業者) スタッフが負傷者の役をするなどシミュレーションはしている。</p> <p>(D 委員) 個人情報保護に関して、マイナンバーについて知りたい。実際に利用者のマイナンバーを取り扱うことはあるか。</p> <p>(事業者) 新規登録など登録関係で扱うことはあるが、有隣堂の管理として裏は見ない。現在、裏返しても見えないようにカバー付けている方も多いが、当初は、できれば見せていただいて、手に取らないように徹底していた。</p> <p>(D 委員) 個人の名前とカード番号をひもづけたデータはないか。</p> <p>(事業者) ない。</p>
<p>資 料 特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 平成 28 年度第 1 回横浜市山内図書館指定管理者選定評価委員会会議録(案)</p> <p>(2) 横浜市山内図書館事業者選定評価委員会管理業務評価(事業者記入済み評価シート)</p> <p>(3) 平成 27 年度横浜市山内図書館活動実績</p> <p>2 特記事項</p> <p>(1) 平成 28 年第 1 回委員会の会議録は承認</p> <p>(2) 平成 28 年度第 3 回委員会は平成 28 年 11 月 24 日(木)開催予定。</p>